

掴め君の未来を！

令和4年12月号

慶進中学校・高等学校
進学指導部
令和4年12月1日発行

共通テストまで残り45日です。3年生は、ここから受験本番まで、やるべきことを最後までやり続ける平常心が求められます。学習の積み重ねに対する成績の上昇は、階段状にアップしていきとされています。学習の成果が、成績上昇として現れるまでにタイムラグがあります。つまり、今までのがんばりの成果が現れるのは、これからなのです。「やるべきことをやれば最後まで伸びる」と信じて、第一志望合格に向かって強気で進んでいってください。また、共通テストに向け、今のうちから生活リズムを整えましょう。特に、受験勉強中に迎える年末・年始で生活リズムを崩さないように気をつけること。また、受験本番までは、スマホや漫画を控えることは絶対です！。集中力を高めていきましょう！！

1・2年生は、ベネッセ模試が返却され、自分の学習状況を確認する時です。模試で間違えた問題は、自分の「伸びしろ」です。今から冬休みにかけてじっくり時間をかけて復習しましょう。1月には、またベネッセ模試がありますよ。



●大学入試トピックス 2023年度入試(現3年生が受験する入試)の志望動向



第1回駿台・ベネッセ大学入学共通テスト模試(9月実施)志望動向 (ベネッセハイスクールオンラインの記事から作成)

【入試環境の変化・受験概況】:受験人口の減少に対して理系の受験者数の減少幅が小さい。

第1回ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試の受験者数は対前年指数97となっており、18歳人口の減少率をふまえると、おおむね受験人口の減少を反映した人数となっている。教科型別の受験者数をみると、5-8文系が97、私文3教科が96であるのに対し、5-7理系と私理3教科はともに98となっており、理系の受験者数の方が、指数が高くなっている。

【学部系統別の志望動向】:国公立大・私立大ともに理系人気の傾向がみられる

国公立大では、社会学、総合科学、医学、薬学、農・水産学系統などで志望者数の増加がめだつ。一方で、人文科学、語学、法学、教員養成・教育学系統などでは志望者数が減少している。全体的にみて文系の不人気、理系の人気傾向がみられている。新型コロナウイルス感染症拡大(以下、コロナ禍)の影響などによって、国公立大、私立大ともに医学、薬学系統の志望者数の増加と語学、国際関係学系統の減少が続いている。また、総合情報学系統は国公立大で対前年指数125、私立大で110といずれも増加がめだつ。

【国公立大の志望動向】:国立大の志願者数は下げ止まる。難関国立10大、ブロック大では安定した入試競争が予想される。

共通テストの導入を機に、安全志向の高まりから国公立大の志願者数は大きく減少していた。直近の2022年度入試では国公立大の志願者数は増加に転じたが、長期的には減少傾向に変化はないものと考えられる。国立大志望者数は対前年指数98、公立大は97となっており、受験者数の対前年指数と同程度となっている。難関国立10大(北海道大、東北大、東京大、東京工業大、一橋大、名古屋大、京都大、大阪大、神戸大、九州大)と、ブロック大(筑波大、千葉大、横浜国立大、新潟大、金沢大、岡山山、広島大、熊本大、東京都立大、大阪公立大)の志望者数はともに対前年指数100となっており、入試難易度の高い大学群では受験人口の減少に関わらず安定した入試競争が展開されることが予想される。

【私立大の志望動向】:私立大の志願者数は下げ止まる一方で合格者数は増加。地方部から都市部の私立大を志望する生徒が増加。

私立大の志願者数は、近年大幅な減少が続いていたが、2022年度入試では対前年指数101と下げ止まりをみせた。一方で、合格者数は増加傾向が続き、実質倍率が低下した大学が多い。近年、地方部から都市部の私立大を志望する動きが戻ってきている。

●「医進プロジェクト」活動報告

慶進高校では、医師になり社会に貢献したいという生徒たちの夢を実現するために、「医進プロジェクト」を立ち上げ、長期的な計画のもとで様々なサポートをしています。医療現場に出かける機会を設け、見学や体験、交流を通して職業観や受験を突破する強い意志を養うとともに、医療テーマについての講座やディスカッションを実施し、さらに小論文・面接の個人指導などのきめ細かい受験対策を行っています。

- 主な活動**
- 大学教員による出前講義(高校1年生~3年生)
 - 医学部医学科合格者との茶話会(中学1年生~高校3年生)
 - 病院見学と現場の方々との交流(高校2年生)
 - 医療系小論文講座(高校1年生~3年生)
 - 小論文・面接指導(高校3年生)

慶進高校では、昨年度、国立大学の医学部医学科に12名の生徒が合格しました。現在、高校3年生は小論文の課題に取り組んでおり、志望理由書の作成や面接指導が始まっています。



(11月に実施した出前講義の様子)

●「郷働ネット」活動報告

郷働ネットとは、慶進生が故郷「宇部」の地域社会とつながることにより、自分の将来に役立てるだけでなく、「宇部」の将来にも貢献していく生徒主体の活動です。今年度は「対面で繋がる・地域経済を回す」ことをいっそう強化しています。

- 主な活動**
- 慶進祭にてキッチンカー招致、コラボ出店
 - 「新天町子どもまつり」に出店
 - 「かまたの恵」で田植え体験、歴史学習

- 「うべの里アートフェスタ」の準備・運営補助
- 「かねこキッズまつり」運営
- 「宇部まつり」にてレモネード・喫茶出店。
- ※レモネードの売上は全額協会に寄付しました。

●先輩の合格体験記 今月は、昨年度卒業した先輩方の「共通テスト(共テ)」直前の心境を掲載します。

<p>岡山大学医学部</p> <p>共テ直前はとても緊張しました。“医学部なら9割”という強迫観念にとらわれて必要以上に緊張した気がします。私は共テ82.5%で合格しました。9割の呪縛にあまりとらわれないでください。</p>	<p>山口大学医学部</p> <p>共テ対策を2か月頑張ってきたので、あまり不安はありませんでした(かといって自信もなし)。共テ模試を外でも受けていたので、試験慣れしていたことも、あまり緊張しなかった理由の一つです。</p>	<p>東京大学理科一類</p> <p>国語や世界史の勉強が直前まで進んでいなかったで、本当に焦った。ただ、本番の数日前からは、やることはやると自分に言い聞かせたので、本番も緊張せず、模試のように取り組めた。</p>
<p>山口大学教育学部</p> <p>共テの配点が高い大学を受験したので、点数を取れなかったから・・・と悩んでいましたが、もうやるしかない！という気持ちに切り替えてテストを受けました。受ける人はみんな緊張しているので一人だけではありません。大丈夫です。</p>	<p>北九州市立大学法学部</p> <p>共テ1週間前は、新しい問題を解かず、今までやった問題をとにかく完璧にするようにしていました。そのおかげで、心も落ち着きました。当日も今まで1年間やってきたことを出せば、自己新を出せると思い込んでいたので、あまり緊張しませんでした。</p>	<p>千葉大学国際教養学部</p> <p>ものすごく緊張しました。難化することが明白だったのでここで失敗したら終わる、というくらいの気持ちでした。でも心の中ではあんなに勉強したんだから、絶対大丈夫!!と思っている部分もありました。</p>

●共通テストまであと1ヶ月半~準備することは?

- ① 受験票の確認と準備
 - 12月中旬以降に、大学入学共通テストの受験票が学校に届きます。2学期の終業式までに、受験のための説明会を開き、そのときに配布します。
 - ◎ 受験票
 - ◎ 写真票 → 写真を貼り、試験当日、受験会場に持参する。
 - ◎ 成績請求票 → 国公立大学や共通テスト利用の私立大学を出願するときに使います。それまで大事に保管してください。
- 氏名や生年月日が間違っているときは、再発行の手続きを各自でしてください。(受験案内参照)

- ② 腕時計の準備
 - 試験会場には時計がないと思っておくこと。仮にあったとしても、自分の席から見えないかもしれません。自分の時計を持っておく必要があります。スマホは机に出すことができません。通信機能のある腕時計は絶対にいけません。カンニングとみなされ、受験資格を失います。カチカチと音の出るものは迷惑になるのでやめましょう。時刻を見るだけのシンプルな機能の腕時計を用意してください。

- ③ 受験会場の下見
 - 受験票に、受験会場が記載されています(例年は山口大学工学部)。冬休みの間に一度、当日使う交通手段で会場に行ってみて、どのくらい時間がかかるか計っておきましょう。車で送ってもらう場合は、渋滞や事故の危険性も考慮し、充分な余裕をもって到着できるように考えておきましょう。雪が降ることも考えられます(山口大学工学部は坂の途中!)。雪が降ったらどうするか、ご家族で相談しておいてください。

- ④ 生活リズムを整える
 - 冬休みに夜型生活にならないよう、「受験の日に起きる時間」に起きる生活を心がけてください。受験会場の下見をして、当日起きる時間を決め、その日にスッキリ起きられるように毎日同じ時間に起きましょう。

★「闘う君」へのメッセージ★

「ファイト! 闘う君の唄を 闘わない奴等が笑うだろう
ファイト! 冷たい水の中を ふるえながらのぼってゆけ」(詞 中島みゆき)

今まで自分がやってきたことを信じて、残りの期間を走り抜けてください。1か月半は思っているより長いです。この期間で明確な目標を持ち、適切な計画を立て、あとは淡々とこなしていけば、必ずかなり点数が上がります。ラスト1か月半は成績が爆発的に上がる期間です。現時点で目標に達していないとしても、意外となんとかなります。人生の中でこんなに勉強する期間はそうはないですよ。ここで全力でがんばっている人はカッコいいです!! 応援しています。

●国公立大の願書取り寄せ



国公立大学の募集要項の発表は12月中旬までに行われ、願書の取り寄せができるようになります。募集要項は年内までに入手しておく安心です。受験大学が、共通テスト結果次第で変わる可能性がありますので、無駄になるのを覚悟の上で、受験する可能性のある全ての大学の願書を取り寄せておくことをオススメします。

●私大の出願開始

私立大学の一般選抜の出願時期は12月下旬から1月下旬の間が多いです。年が明けると共通テストの受験など何かとバタバタするため、早く受験校を決めて、出願期間が始まったらすぐに出願を済ませることをオススメします。出願の際、高校が発行する調査書が必要になります。「一般選抜連絡票」を期限内に担任に提出し、冬休み中に、調査書を受け取るようにしましょう。(調査書作成には時間がかかります。注意してください。)また、何校か受験する場合、出願締め切り、試験、合格発表、入学金納付締め切りなどのスケジュール管理が重要になります。

12月の進学スケジュール

- 9日(金) 小論文模試(ⅠASⅡS全ⅡA希)
- 10日(土) GTEC(ⅠS)
- 12日(月) 大学訪問(ⅠA)
- 17日(土) 進学ガイダンス(ⅡA)
- 20日(火)~22日(木) 保護者会
- 23日(金)・26日(月) 大学入学共通テスト演習(ⅢAS)
- 26日(月) 終業式、成績配付
- 27日(火) テーマ発表会(ⅠS)
- 日時未定 共通テスト受験票配付&説明会(Ⅲ)